

はじめに

21世紀の現代社会において私たちは、人・もの・情報の交流がますます盛んになる大交流時代を迎えようとしています。

愛知県では、こうした時代の潮流を踏まえ、2005年3月の開港を目指して、中部国際空港の整備に力を入れておりますが、同時に、中部国際空港に近接する地域の埋立造成事業にも着手いたしました。このたび、この空港近接部地域を「中部臨空都市」と名付け、まちづくり展開のための基本的な考え方を、推進計画として取りまとめました。

中部国際空港の整備効果は、都市基盤・産業・リゾートなどを始めとする幅広い分野で、広域に及びます。なかでも、愛知・中部の空と世界の空が直結することによるインパクトは大きく、この地域に多様な国際交流が生まれることでしょう。

「中部臨空都市」の整備は、このような新しい環境・立地条件を最大限に活かして行く、次世代のまちづくり事業です。愛知県は、このまちづくりを通じて、産業技術の中核地域としての役割を一層高め、世界の経済発展に大きく貢献するとともに、新しいライフスタイルを提案し、豊かでゆとりある地域を実現することを目指してまいります。

こうした愛知県の新たなチャレンジである「中部臨空都市」についてご理解を深めていただければ幸いです。

ビジネス、観光、レクリエーションなど生活のそれぞれのシーンで、「中部臨空都市」を活用していただけるよう、皆様とともにまちづくりを進めてまいります。どうぞご協力をお願いいたします。

平成14年9月

愛知県知事 神 田 真 秋